

大好き!絵本

初瀬 恵美



『おさんぽ おさんぽ』
さく・え:ひろのたかこ
出版社:福音館書店

新緑が美しい季節となりましたね。4月は初夏のような陽気かと思えば、翌日は、冬に戻ったかのような寒い日だったこともありましたね。それでも、春は日一日と過ぎ行き、園庭にも蟻やだんごむし、てんとう虫など、子どもたちの大好きな生き物がいっぱい顔を出し始めました。

今月はそんな身近な生き物が登場するおはなし『おさんぽ おさんぽ』を紹介したいと思います。

この絵本は、1999年『こどものとも0・1・2』の6月号で紹介されたのち、一般販売されるようになった絵本です。6月号で紹介された絵本なので「梅雨」もテーマとしてありますが、暖かくなったこの時期から十分に楽しむことができる絵本なので、取り上げさせていただきました。

この絵本のタイトルである「おさんぽ」も子どもたちは大好きです。そして、何故か長靴も大好きな子どもが多いのです。特に歩くのが上手になった1歳後半から2歳の子も達は、天気の良い日に長靴を履いてきて「ほら～（みてみて、かっこいいでしょ～）」と自慢気に長靴を見せてくれたりします。その傍らで「どうしても、長靴がいいっていうんです～。こんなにいいお天気なのに・・・。」と苦笑いするお母さん方・・・こんな光景を毎年のように目にします。自分で「長靴」をはくと決め、その意思を貫き、長靴で登園して園庭を歩いてきている姿をみると、自信と誇りがみなぎっているように感じます。子どもたちの表情はとても生き生きと、そしてキラキラとしています。私はこの光景が大好きです。

実は、この絵本の主人公の子もお天気の日には長靴をはいてお散歩にでかけます。途中で水たまりが登場するので、もしかしたら雨上がりなのかもしれないけれど、葉っぱはかわいているので、雨があがってからはばらばらたっている感じです。そしておもしろいことに、この絵本はずっと、この足元の視点で進みます。両足をそろえている表紙をめくると歩きはじめた絵が描かれています。「**おさんぽ おさんぽ だんごむしさんもおさんぽ**」とこんなフレーズから始まっています。「おさんぽ」も「だんごむしさん」も「長靴の足」もどれも子どもたちの好きなものばかり。ページをひらくとまだしっかり話することができない小さな子も「おっ！おっ！」と長靴やだんごむしの絵を指さして大喜びです。「あ～、〇〇ちゃんと同じ長靴だね。」「だんごむしさんだね。この間いたね。」とやりとりを楽しむのも、とても楽しいものです。また絵本の後半に出てくる「みずたまり」は、あれば入りたくなるという期待通りの展開が繰り広げられ、子どもたちを存分に楽しませてくれます。

このように絵本を通して発見できる喜びがあるのもこの絵本の魅力です。0・1・2歳という時期に、このように大好きな大人と一緒に絵本の世界を楽しむことができる絵本に出会うことって、とっても大事なことだと思いますよ。その時間はおうちのかたにとってもきっと、思い出に残る大切な時間になると思います。ぜひご覧になってみてください。

